

山みき通信

発行者:山下幹雄(尾張旭市議会議員)

488-0076 尾張旭市新居町山の田 3208-20 TEL:0561-52-4344

平成15年初当選。現在3期目(維新の会・福祉・改革ライン代表)



HP:yamamiki.com



BLOG THE MIKI PRESS

SNSで情報発信中!検索⇒山下幹雄

行政・議会改革を進める 活動の背中を押してください!

議員定数削減の議員提案をします!

尾張旭市議会の議員定数は、条例で現在21名となっています。しかし、平成24年4月より市長選挙出馬の為、2名の市議会議員が辞職し、実質19名の議員で議会運営がされているのが実態です。私が所属する会派(維新の会・福祉・改革ライン)では、平成25年度の議会あり方検討会において、12名に削減できるのではないかと立証してきました。社会保障費の増加傾向は加速するばかりです。そして、消費税増税で生

活者負担は増えるばかり・・・。議員、公務員は、税金をお預かりして市民の為の仕事をさせていただいている。効率よく運営されることが、市民より求められています。実際19名の議員で、この2年間は議会運営を進めてきました。この議員数で「出来る!」事を実証しています。21名に戻す必要があるとは、とても考えられません。そこで、我が会派案12名への急激な削減が難

しいならば、せめて現状の19名の議員定数で改選を迎えるべきです。

19議席→21議席？

削減反対議員からは、こんな意見が・・・

★議会の機能を保つには、条例上の21人が限界。

★平成15年以降、定数の見直しは2期ごとに行ってきたのでこれにあわせる。

こうした意見を支持した議員が、現在全議員の3分の2程度存在しています。ただ、会派（議員のグループ）の意見集約で、やむなく統一見解としている議員もいるようです。

市民の皆さんは、どのように感じますか？

尾張旭市の市議会議員の報酬は、年間約700万円。その他、政務活動費等を含めますと2名削減で1500万円以上の歳出削減（市のお金を使わずに済む）になります。

6月26日の議会最終日に



議員提案第1号 尾張旭市議会議員の定数を定める条例の一部改正についての議決が行われます。是非、関心を持って皆さんの声をお近くの市議会議員に届けてください。今回の提案が通らなければ、改選後の4年間（平成27年～31年）は、21議席のままとなり約6000万円以上の歳出削減チャンスを逃すことになります。

市民の声が最大の力です！

私は、是々非々の議論の中、しがらみにとらわれず各行政分野においてチェック（指摘）、提言をしてきました。その背中を押していただいたのは、市民の皆様の声です。

昨年9月議会で指摘した一連の随意契約における不祥事を調査…改善策へ

新聞報道でも大きく取り上げられた「不適切な随意契約事件」は、昨年9月議会から始まり、12月議会、3月議会と全貌の追及と改善への道のりを問い合わせてきました。結果、随意契約事務改善の委員会が召集され、3月末にその報告書がまとまり公表されています。（市ホームページ市政情報より）

尾張旭市議会議員
山下みきお